

# 評価の方法・基準について

## 評価方法について

◆目標を達成するための具体的方策の取組状況について、教職員又は児童対象に、4(あてはまる)、3(どちらかというにあてはまる)、2(どちらかというにあてはまらない)、1(あてはまらない)の4段階でアンケートを取り、目標数値の達成度を次の基準で評価しました。

目標数値の達成度	評価
※回答結果 (%) ÷ 目標数値 (%) × 100 = 達成度 (%)	
100%以上 (達成している)	… A 取組がよい
85%以上～100%未満	… B まあまあよい
60%以上～85%未満	… C あまりよくない
60%未満	… D よくない

※総括の項目の○はプラス面の成果を、△はマイナス面の課題を表します。

## 評価の時期と改善に向けて

- ◆評価は、1学期末と2学期末に実施します。
- ◆目標の達成状況と具体的方策の実施状況を関連させて検証し、課題を明らかにすることによって、方策の改善を図ります。

## 評価の公表について

- ◆評価結果については、学校のホームページでお知らせします。

令和6年度 学校評価総括表

越前町立糸生小学校

重点項目	本年度 めざす 児童像	目標	数値目標(評価基準)	評価 結果	具体的取組(評価基準)	評価 結果
確かな学力	目標を持ち、粘り強く学び合える児童	粘り強く考える子の育成	「問題を解決するために、様々な方法であきらめずに考えることができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる65%)を目指す。	A(A)	児童に学習内容の見通しをもたせ、児童が主体的に取り組む場面をつくる。(教職員)	A
		協働的な学びがある授業づくり	「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	生徒指導の4つの視点を取り入れた授業を行う。(教職員)	A
		協働的な学びがある授業づくり	「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	個別最適な学び・協働的な学び、ICT教育の実践に向けた情報交換を毎週行い、授業に活かす。(年間30回以上)(教職員) ※1~3月予定(10回)を含む	B
		協働的な学びがある授業づくり	「自分の考えを伝えたり、他の子の意見を聞いたりして、お互いに学び合うことができた。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	お互いに学び合うためにICT機器を活用できるようにする。(教職員)	A
豊かな心と社会性	互いに認め合い、協働できる子	認め合う仲間づくり	「学校は楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(A)	SSTやレジリエンス等のポジティブ教育を取り入れる。(教職員)	A
		認め合う仲間づくり	「学校は楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(A)	児童が企画・運営する活動の場を学期に1回以上設ける。(教職員)	A
		様々な人と協働できる子の育成	「みんなで何かをするのは楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる85%)を目指す。	A(A)	行事を生かしてピアサポート活動を行う。(教職員)	A
		様々な人と協働できる子の育成	「みんなで何かをするのは楽しい。」と答える児童が95%以上(当てはまる85%)を目指す。	A(A)	地域の方等と交流できる活動を取り入れる。(教職員)	A
健康な心と体	心身ともに健康でたくましい子	心・技・体の向上	「粘り強く運動に取り組むことで体力がついたり、技が向上・習得したりすることができた」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	体育授業や体育的活動で、自分に合っためあてを設定し、振り返る場を設ける。(教職員)	A
		心・技・体の向上	「粘り強く運動に取り組むことで体力がついたり、技が向上・習得したりすることができた」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	全校共通の準備運動に取り組み、継続的に補強運動を行うことで、体力の向上、技能の習得を図る。(教職員)	A
		健康の保持増進	「自分に合っためあてを考え、めあてを意識しながら健康に生活することができた」と答える児童が90%以上(当てはまる80%)を目指す。	A(B)	健康増進への意識をもたせるために、学年に応じた目標を立て、「健康カレンダー」、「我が家のメディアルール」に取り組みさせる。(教職員)	A

# 令和6年度 学校関係者評価書

越前町立糸生小学校 学校関係者評価委員会

項目	評 価
<p>確かな学力を育てる</p>	<p>[粘り強く考える子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数の苦手な児童でも、ゲーム形式の活動を取り入れ、遊び感覚で学ぶ事ができたことは、粘り強く考える力を育む事に繋がると感じました。これからも継続して下さるようお願いします。</li> </ul> <p>[協働的な学びがある授業づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループ活動で、自分の考えや他の子の意見を聞くことは、お互い分からない時は聞き合ったりでき、様々な考え方もある事が分かったりするので、協働的な学びに繋がると思います。</li> </ul>
<p>豊かな心と社会性を育てる</p>	<p>[認め合う仲間づくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポジティブ教育は、気持ちが前向きになり、もっと学ぼうと思うようになり、良いと思います。</li> <li>児童が企画運営する自主的に取り組む活動は、達成感も味わうことができ、とても良いと思います。</li> <li>「レッツチャレンジ」というスローガンで、児童全体で課題に取り組むことはとても良いと思います。</li> </ul> <p>[様々な人と協働できる子の育成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の色々な人との触れ合いを通して、昔からの知恵を学んだり、作業体験ができたりますので大変良いことだと思います。</li> <li>全児童の縦割りで作られた糸生っ子班は、協働できる子の育成に良いと思いました。</li> <li>マレーシア留学生との交流では、ブルーベリー収穫やゲームなどで皆が楽しそうでした。留学生との交流会はこれからも続けて欲しいと思います。少しでも日本と外国との違いがわかれば良いと思います。</li> </ul>
<p>健康な心と体を作る</p>	<p>[心・技・体の向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲーム感覚で自分の「めあて」を設定し、休み時間になると楽しみながら運動に意欲的に取り組めたことは、達成感が得られて、何事にも諦めず忍耐力もつくようになると思います。</li> </ul> <p>[健康の保持増進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康カレンダーにより「めあて」を明確にして取り組むことは、項目を絞る事ができ、良いと思います。早寝・早起き・朝ご飯は子どもだけでなく、保護者の協力も必要です。健康の保持増進は学校だけでなく、家庭でも高めてもらう事が大事だと思います。</li> </ul>
<p>学校教育活動全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアメイクアップアーティストやEXPO スクールキャラバン出前授業などは、子ども達にとって良い学習だったと思います。数年後の学校統合はとても残念ですが良いクロージングができる様お願いします。</li> </ul>